

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行

2026 9/6

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

無限に広がる宇宙の世界を想像すると、何だかわくわくするよね。宮城県角田市の宇宙航空研究開発機構（JAXA）角田宇宙センターでは、研究者がロケットのエンジン開発などの業務に取り組んでいるんだ。センターで働く研究開発員の八柳秀門さん（30）に、宇宙開発に携わる仕事の魅力を聞いたよ。（8面に関連記事）

八柳さんは、宇宙から地球に戻る機体が大気圏で受ける衝撃や熱につ

JAXA研究開発員

の役割です。



いて研究しています。地球を覆う空気の層の大気圏に突入する時、機体のスピードは新幹線や飛行機よりもはるかに速い秒速6キロに達します。

機体が途中でバランスを崩したり、周囲で発生する熱に溶かされたりしないようにするにはどうしたらいいか。それを研究するのが八柳さん

研究では、全長約80メートルの筒状の「高温衝撃風洞（HIEST）」と呼ばれる試験設備を使います。風洞は空気の流れを人工的に作り出す装置で、秒速6キロの空気の流

ことで大気圏に突入する時の環境を再現します。空気の流れが発生するのは一瞬ですが、模型に取り付けたセンサーで温度や圧力、加速度などを測定します。実験で得られたデータを基に計算すると、大気圏を飛行する機体が受ける衝撃や熱を推測することができるよう

八柳さんは「ここでしか解明できない物理現象もあります。最先端の試験設備を使えるのは、研究者としてすごくやりがいを感じます」と目を輝かせます。



巨大な風洞設備を使って研究する八柳さん＝宮城県角田市のJAXA角田宇宙センター

日本では、まだ人を乗せて宇宙にロケットを飛ばしたことはありませんが、近い将来、実現するかもしれません。

「日本初の有人飛行につながるような研究ができているのも、夢がある仕事だと感じています。これからも試験を重ね、研究を深めていきたいです」

世界最先端の設備で実験

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



この日 何の日

◇6日（日） 悠仁さま誕生日

2006年のこの日、父の秋篠宮さま以来、41年ぶりに男性皇族として誕生しました。60歳未満で唯一の皇位継承資格者です。現在は筑波大（茨城県つくば市）生命環境学群生物学類で学んでいます。

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
3面 連載「古代のモンスター」
4・5面 わが校わがまち スクール通信
6面 聞いて話して こども英語
7面 投稿特集
8面 八柳秀門さんに聞く

きょうの紙面